

基幹化学品事業

産業の基礎となる化学品を取り扱っており、様々な分野に原料となる製品を供給するとともに、社内に高付加価値製品の原料を供給するという役割も担っています。主な取扱製品は以下。

無機化学品事業: 電解関連製品(カセイソーダ、カセイカリ、塩素、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、過鉄、酸化銅など)と、硫酸・アグロ製品(硫酸、重炭酸カリなど)

アクリルモノマー事業: アクリル製品(アクリル酸、アクリル酸エステルなど)と、化成品(エチレンカーボネート、ATBSなど)

工業用ガス事業: 酸素、窒素、アルゴンなど多種にわたる産業ガス



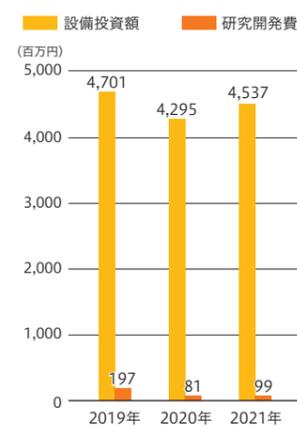
執行役員
基幹化学品事業部長
高山 昭二



セグメント別売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



2021年レビュー

2021年は、コロナ禍からの回復により、ほとんどの産業の生産が高稼働となり、対前年で増収増益となりました。特に自動車部材や半導体コピー用紙向けのアクリルモノマー製品、硫酸などの販売が大きく貢献しました。また、成長分野顧客への拡販に向けた設備増強を推進しました。それ以外では、環境変化に対応し、右記を実施しました。

- ①カーボンフリー社会実現に役立つため、燃料電池自動車の燃料水素を供給する水素ステーションを2021年11月に徳島で開設しました(2022年4月から正式操業開始)。
- ②新型コロナウイルス対策に役立てていただくこと、次亜塩素酸水溶液「アロンジアクリーン200」を2021年5月に販売開始し、身の回りの除菌に使用していただいています。

強み・成長の機会

- ▶ カセイカリ高性能電解槽による業界最高水準の原単位と品質を達成
- ▶ 高純度化技術による特級次亜塩素酸ソーダ(上下水道の除菌などに利用)の全国展開
- ▶ アクリルモノマー生産における高効率反応制御、精製系の長期安定性によるコスト低減と品質安定性
- ▶ 当社独自の精製技術によるエチレンカーボネートの高純度化、電子材料用途への展開
- ▶ ATBSの高い重合技術による品質優位性



中長期的な成長戦略

基幹化学品事業は、ベーシックケミカルを中心に歴史も長く、安定した操業と安定した事業運営をしていくことが基本ですが、産業界の需要構造の変化に対応していくことも必要。特にこれからは、原燃料変更、製法転換、水素有効活用など、カーボンニュートラル社会の実現に貢献できるような事業運営をしていきます。

無機化学品事業

電解事業は、製法転換による使用電力量削減、グリーン電力を使った電解操業によりカーボンニュートラル対応を進めていきます。

また電解で製造する水素の有効活用によるカーボンニュートラル社会への貢献を進めていきます。

硫酸事業は、LIB正極材の顧客を中心に拡販し、設備の稼働率を高めます。それにより併産されるスチームを有効利用することにより、製造拠点のカーボンニュートラル対応に貢献します。

アクリルモノマー事業

アクリル事業は、原料をバイオ製品に切り替える等の生産、供給体制の確立を目指し、カーボンニュートラル対応を進めていきます。

エチレンカーボネートは世界で数社しか生産していない製品です。LIB電解液需要が伸びており、需要伸長に合

わせた生産体制の確立を推進します。

ATBSも世界で数社しか生産していない製品です。石油掘削用の需要が伸びており、その生産体制の対応とともに、バイオ製品要請の高まりを受け、バイオ原料からの生産体制確立を目指します。

工業用ガス事業

中部・北陸地区に製造拠点をもち、地域に根差した販売をしています。販売しているLNG冷熱を利用して製造した酸素・窒素・アルゴンは、電力消費量削減、CO₂排出量削減に貢献しています。

また、中部地区に数少ない高圧ガスローリー容器整備場を保有しており、これを強化して検査にかかる環境負荷を低減し、製造&配送の両面から環境に配慮した事業を目指します。

Focus Topic

> 徳島工場に水素ステーションを設置

徳島工場では、電解によりカセイソーダ、塩素の他、水素を製造しています。次世代エネルギーとして着目されている水素の有効活用のため、電解設備から得られた水素をFCV(燃料電池自動車)に供給する定置式水素ステーションを、工場隣接地に設置し営業を開始しました。また、水素充填装置を搭載したトラック(移動式水素ステーション)も徳島県内2箇所まで営業を開始しました。



東亜合成水素ステーション徳島

ポリマー・オリゴマー事業

生活用品から自動車・電子材料・医薬化粧品まで、幅広い分野で使用されるアクリル製品を取り扱っています。主な取扱製品は以下。

アクリルポリマー:製紙・塗料用での顔料分散剤や液晶ディスプレイ用粘着剤、さらにリチウムイオン電池用バインダーや医薬化粧品など、広範囲な分野で応用されている

光硬化型樹脂「アロニックス」:無溶剤という環境面のメリットがあることから、インキ・塗料・電子材料など幅広い分野で使用されている

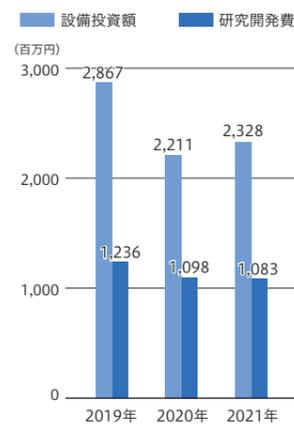
高分子凝集剤「アロンフロック」:汚水処理場での処理薬剤に高分子凝集剤が使われている



セグメント別売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



執行役員
ポリマー・オリゴマー事業部長
五十嵐 一郎

2021年レビュー

2021年は新型コロナウイルスの影響からの需要回復に加え、自動車・医薬化粧品・電子材料向け製品の拡販により単体・連結ともに対前年で増収増益となりました。

国内外ポリマー事業は、自動車用ポリマーや建材用シーリング材の回復に加え、リチウムイオン電池、医薬化粧品等の高付加価値製品分野での拡販に注力した結果、増収増益となりました。

国内オリゴマー事業は、パソコン等の巣ごもり需要がけん引し、対前年で増収増益となりました。

海外事業所においても、景気回復および巣ごもり需要による電子材料向けを中心に販売好調で対前年で増収となりましたが、原料価格高騰の影響が大きく、減益となりました。

凝集剤事業は、新型コロナウイルスの影響による需要減からの回復基調により、対前年増収増益となりました。

研究開発においては、新規重合法を用いた高機能半導体用ポリマーやバイオマス認証を取得した特殊アクリレート製品の開発を進めました。

強み・成長の機会

- ▶ 自社製品のアクリル酸を応用し、充実したアクリル川下製品をラインアップ
- ▶ 当社の有する重合技術を活用したポリマー構造制御(直鎖・分岐・架橋・粒子径・分子構造等)
- ▶ 光硬化は多官能アクリレートを軸に、カチオン硬化系のオキセタンもラインアップ
- ▶ 成長著しいアジアに製造拠点を有し、地域ニーズへ対応



中長期的な成長戦略

ポリマー・オリゴマー事業は、当社グループの成長戦略の中核を担う事業として、アクリル川下領域での既存事業の拡大に加え、優れた合成・重合技術をベースとした高付加価値製品の拡大・新規事業創出、および海外事業の拡大を目指しています。

ポリマー事業

医薬化粧品や電子材料分野で伸長している高機能粉体ポリマーの可能性を探求し、用途・技術開発をさらに進めます。

海外拠点のトウアゴウセイ・シンガポールでは、水溶性ポリマーの連続重合によるコスト競争力を生かし、アジア地

域での塗料用分散剤や水処理剤の拡販を目指します。トウアゴウセイ・タイランドは、高付加価値水溶性ポリマーの開発拠点と位置づけ、ASEANをはじめとするアジア地域のニーズに応じた製品開発・拡販を推進します。

オリゴマー事業

インキ・塗料やレジスト剤等の電子材料分野での品質やコスト面での競争力アップと、カーボンニュートラル時代への対応としてバイオマスアクリレートの開発を進めます。

台湾の台湾東亜合成と東昌化学、また中国の張家港東亜迪愛生化学では、半導体・電子材料分野を中心に、さら

に5G関連・環境といったトレンドに乗った需要の取り込みにも注力します。さらに現地のみならず周辺国への拡販も強化します。

製造面では、現有の日本・台湾・中国3製造拠点での生産体制を再構築し、基盤強化に努めます。

凝集剤事業

当社グループのMTアクアポリマー株式会社は、高品質の高分子凝集剤「アロンフロック」により、多種多様化する廃水・汚泥の浄化に優れた製品と、適切なソリューションを提供していきます。他社からの粉末凝集剤の営業権

譲渡を機に、双方の技術を生かした高機能製品の開発推進、事業基盤の強化に加え、生産体制最適化によるコスト競争力強化を図り、国内外への一層の展開を進めていきます。

Focus Topic

> EcoVadis社サステナビリティ評価でプラチナを獲得

広野工場は、EcoVadis社(本社:フランス)のサステナビリティ評価において、最高評価のプラチナ(上位1%以内の企業に付与)を取得しました。

近年、ESG評価を基準にサプライヤーを選定する企業が増えています。その中でEcoVadis社の評価結果は多くのグローバル企業に重要な基準の一つとして活用されています。

医薬・化粧品・トイレタリー向けアクリルポリマーを生産し、それぞれの製品を製造するメーカーに原材料として納品している広野工場では、今後もサステナビリティ推進の取組みを行い、高付加価値製品の提供を続けていきます。



接着材料事業

接着材料事業は、プラスチックや金属・木材・ゴム・革など様々な素材の接着を通して、軽量化、薄型化、さらに生産性向上、コストダウンといったお客様のご要望にお応えしながら技術革新に貢献しています。

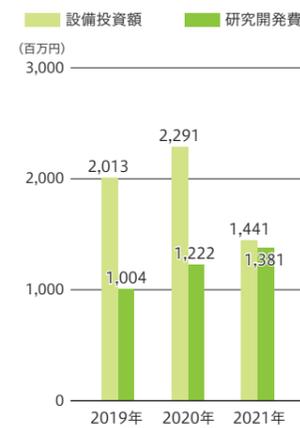
取扱製品は、瞬間接着剤の代名詞となっている「アロンアルファ」をはじめ、電子材料・自動車・精密機器などの分野において新たなニーズにお応えする様々な高機能接着剤をラインアップしています。



セグメント別売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



執行役員
アロンアルファ事業部
寿美田 克彦

2021年レビュー

一般用アロンアルファは、耐水性・耐熱性に優れた新製品「アロンアルファ タフパワー」を発売しました。

海外販売は、中国eコマースを強化しました。米国ではKrazyブランド強化のため新製品の開発を進めています。また、タイでは販売基盤の整備を完了、2022年は成果を得るべく尽力します。フィリピンでは本格的な市場参入のため市場調査に着手しました。

工業用アロンアルファも新製品として、光硬化瞬間接着剤を販売開始しました。従来品では困難な厚膜硬化や完全無白化の仕上がりを実現して幅広い用途への適用が期待されます。業績概要は、高機能接着剤が半導体不足により電子機器向けが低調でしたが、自動車部品向け需要の回復を受けて増収となりました。

強み・成長の機会

- ▶ 国内家庭用として発売50年にわたって皆様に愛されてきたアロンアルファの強いブランド力
- ▶ 東南アジア、北米において拡大を続ける瞬間接着剤の市場
- ▶ 情報通信や自動車の技術革新に伴う新たな接着剤ニーズに対応する開発力
- ▶ 光硬化、瞬間接着剤、ホットメルトなど多様な接着剤の配合技術を駆使し、環境にやさしい接着システムを提案して顧客の環境改善をサポート



中長期的な成長戦略

2022年1月から接着材料事業は、二事業部制に組織を変更しました。アロンアルファのブランド力をさらに高め、グローバル戦略を担うべく国内外のコンシューマ向けに特化した「アロンアルファ事業部」とモビリティ関係等成長分野における開発を担う「新製品開発事業部」の二事業部です。

アロンアルファ事業

アロンアルファのブランド力をさらに高めて、これからも瞬間接着剤のトップランナーであり続けます。

国内では、課題である競合メーカーの参入や市場の変化(プライベートブランド増、eコマースの拡大)に対して顧客満足度の高い新商品の提供を続けていきます。一例として、環境にやさしく子供にも扱いやすい接着剤やクラフトづくりの時短に役立つ接着剤といった消費者目線に立った商品

開発や用途提案を積極的に発信していきます。

海外においては、主に中国のeコマースで戦略的なマーケティングにより拡売を加速していきます。東南アジア各国では供給・販売体制を整備してビジネスを一層強化していきます。北米では長い歴史をもち、市場に広く浸透しているKrazyブランド名で瞬間接着剤単品から接着剤周辺製品をラインアップに加えて売場でのプレゼンスを高めます。

機能性接着剤事業

成長分野のニーズに応える高機能製品の開発を行います。運用が始まった5Gやさらなる高速通信6Gの実用化が期待されている情報通信分野、脱化石燃料化、および自動運転技術の開発が進むモビリティ分野をターゲットとして、

基板材料、電池、およびセンシング材料等の各種部品に使用される接着剤の開発に注力します。

また、国内市場の新規開拓を行うとともに、当社が強みを持つ製品の海外展開を積極的に進めていきます。

Focus Topic

> アロンアルファ新CM

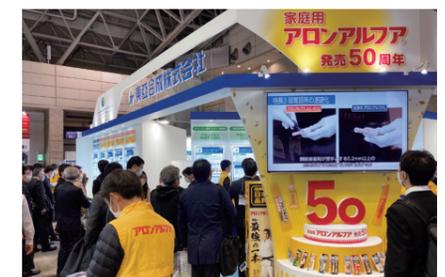
柔道100kg級のウルフアロン選手を起用した新商品「アロンアルファ タフパワー」のテレビCMが好評を得ました。新商品の特長である「速い」「強い」が、ウルフアロン選手と上手くマッチした自信作です。



> 展示会への出展

「第5回 接着・接合 EXPO」と「Smart Sensing 2021」に出展しました。

コロナ禍にもかかわらず多数の方にご来場いただき、当社グループの強みを紹介することができました。



高機能材料事業

私たちの生活をより快適にするのに不可欠な高機能製品を取り扱っています。主な取扱製品は以下。

高純度無機化学品事業:半導体の微細化・高集積化に対応した液化塩化水素や高純度アルカリ製品、六塩化二ケイ素などの高純度無機薬品

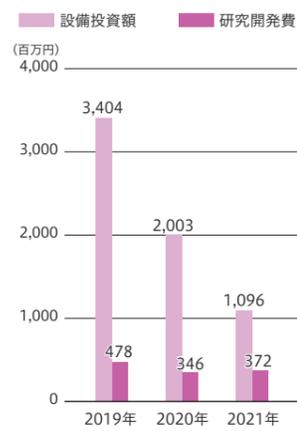
無機機能材料事業:不純物イオンを捕捉し電子部品の信頼性を高める「IXE」「IXEPLAS」、繊維・プラスチックなどの素材に消臭・抗菌・抗ウイルスなどの快適機能を付与する「ケスモン」「ノバロン」などの各種機能性添加剤



セグメント別売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



執行役員
高機能材料事業部長
田村 篤史



中長期的な成長戦略

高純度無機化学品については、様々な分野で使用されている半導体の需要が今後も拡大すると見込まれます。供給責任を果たすべく、設備増強を行い安定供給体制を強化します。既存製品の実績を生かし、新製品の開発にも注力します。無機機能材料については、抗菌・抗ウイルス、消臭をはじめとする生活をより快適にする製品を提供するとともに、海外開発展開をより強化して市場拡大に貢献します。

高純度無機化学品事業

半導体市場の中心となるアジア地域だけでなく、米国における国内回帰などにより、高純度無機化学品の出荷は好調を維持すると考えています。今後も拡大していく需要および微細化・高集積化に伴う品質要求に対応するために、製造設備増強や品質保証体制の再構築などの設

備投資を積極的に行い、盤石な供給体制を確立していきます。主力製品の液化塩化水素の他に、第2の柱としてアルカリ製品の販売拡大に注力します。また、半導体の技術革新に対応するために、新製品の研究開発も推進していきます。

無機機能材料事業

既存製品を中心に、用途分野の拡充にも注力していきます。抗菌・抗ウイルスの社会機運に対応し、ヘルスケアの分野を強化します。各種のウイルスにも有効な抗ウイルス加工剤の開発に注力し、社会の要求に応えるとともにさらなる需要の取り込みを目指します。既存製品につ

いてもニーズの拡大が認められていることから、需要拡大に向けた新規開発を進めています。

また、海外からの要求に応えるためアジア各拠点にアメニティ加工剤の市場開発人員を置き、海外展開に取り組んでいます。

新製品開発

無機製品に限定せず高機能材料開発を促進させるため、セグメント名称を「高機能無機材料事業」から「高機能材料事業」に変更しました。2022年からは、新製品開発事業部のうち新事業企画部が担当する事業が高機能材料事業に含まれます。

ヘルスケア分野で、新たな医療用素材の開発を進め、数年以内に複数の医療機器製品を販売開始すべく注力するとともに、セルロースナノファイバー「アロンフィプロ」を2022年中に量産販売開始し、幅広い分野での活用を目指します(特集:新製品開発事業部(P24)もご覧ください)。

2021年レビュー

● 高純度無機化学品事業

世界的な半導体需要の拡大に対し、生産体制を拡充し、積極的な拡販を進めた結果、高純度無機化学品は大きく伸長しました。

また半導体は微細化が進み、さらなる高純度化が求められており、品質向上にも注力しました。通信、車載向けなど多くの用途で需要は旺盛であり、2022年もこの傾向が継続すると考えています。

● 無機機能材料事業

新型コロナウイルスにより抗菌・抗ウイルスの市場は拡大しました。

従来の抗菌に加えて抗ウイルス加工剤として事業展開を広げました。さらに消臭加工剤などアメニティ向け製品の市場も拡大し、当社の品質が認められたことにより、新規採用が進みました。海外向けアメニティ加工剤の需要も引き続き増加の見通しです。

強み・成長の機会

- ▶ 世界的な半導体需要の拡大に対応可能なサプライチェーン
- ▶ ライフスタイルの変動、技術革新に伴う半導体の用途拡大
- ▶ 独自開発による高純度化技術と製品開発力
- ▶ 生活水準向上による海外アジアを含めた機能性繊維の市場拡大
- ▶ 用途に応じた最適化に有効な合成・粒子制御技術(機能、形状、粒子径)
- ▶ 製品機能を発現させるための評価・分析技術とサポート体制

Focus Topic

> 抗ウイルス加工剤の新規開発

当社で開発した抗ウイルス加工剤は、各種用途分野での採用が進んでいます。また、新型コロナウイルスへの効果も確認されました。2022年も引き続き開発に注力する計画を立てており、さらなる採用も見込まれます。



生活用品の消臭・抗菌・抗ウイルス

樹脂加工製品事業

3つの事業を柱として、持続可能な社会になくなくてはならない機能性の高い付加価値製品を提供しています。主な取扱製品は以下。

管工機材事業:重要な社会基盤である上下水道や雨水・排水分野を中心に塩ビ製のパイプ・継手・排水マスなどの製品を提供

ライフサポート事業:「安寿」ブランドとして排泄・入浴介護や移動歩行用品分野に介護用品を供給

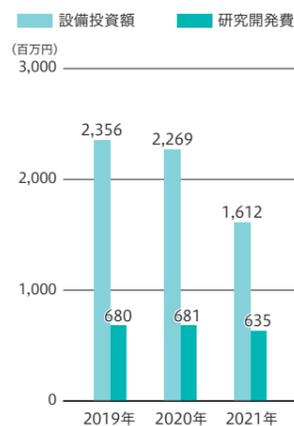
エラストマー事業:熱可塑性プラスチック素材を電機、食品、医療など様々な分野に提供



セグメント別売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



アロン化成株式会社
代表取締役社長
藤原 亮輔

2021年レビュー

● **管工機材事業:**パイプ・継手の汎用製品は需要低迷により減収となりましたが、重点分野として注力している防災分野向け製品や建材および受託加工品が増収となりました。収益面では、主要原料の価格上昇分の製品価格転嫁遅れが生じましたが、高付加価値製品の販売増により増益となりました。事業全体では増収、増益となりました。

● **ライフサポート事業:**新型コロナウイルス拡大により在宅介護の機会が増え、入浴介護用品は販売量が大きく増加しましたが、排泄介護用品は海外の生産委託先がウイルス

対策の影響で生産に支障をきたし、減収となりました。事業全体では増収、減益となりました。

● **エラストマー事業:**既存製品の拡販および新規グレードの採用活動に注力し、主要顧客の需要回復により販売増となりました。海外生産拠点のタイでのウイルス対策の影響で現地の市場開拓や販売活動が制限されましたが、新規製品も顧客評価、および新規採用が進展し、事業全体では、増収、増益となりました。

強み・成長の機会

- ▶ 「洪水浸水、耐震防災、老朽化」の対策分野に貢献する高機能製品の開発力(管工機材事業)
- ▶ 超高齢化社会の介護需要をキャッチアップする「安寿」のブランド力と開発力(ライフサポート事業)
- ▶ BCP対応としてタイ工場と国内工場の2拠点生産体制での最適化(エラストマー事業)
- ▶ 顧客製品の要求特性に細かく対応できる配合技術(エラストマー事業)



中長期的な成長戦略

管工機材事業

国や自治体が主導する国土強靱化計画の推進により重要度が高まる「洪水・浸水対策」「地震・防災対策」「老朽化対策」を重点分野とし、他社との協業も視野に入れながら、製造やシステム開発のスピードを速めています。また、問題

が顕著化してきている施工業界の人員不足への対応として、工事の時間短縮や簡素化、労働負荷低減を可能とする高機能製品の開発に注力し、高付加価値製品にポートフォリオをシフトしています。

ライフサポート事業

団塊世代や団塊ジュニアが高齢者となる2050年まで、高齢化社会への対策は大きな社会課題であり続けます。要介護者の増加により介護事業や在宅介護の需要が増えていく中で、当社は要介護者をサポートする介護製品のリーディングメーカーとして、「安寿」ブランドで培って

きた市場開発力・製品開発力・プラスチック加工技術を生かし、介護業界の課題を解決する新製品の開発に積極的に投資していきます。また、日本に続いて増加していく海外の高齢化社会の需要をキャッチアップできるよう、製品機能をブラッシュアップします。

エラストマー事業

主に加硫ゴムの代替製品として、ユーザーでの加工時のリサイクルも可能な熱可塑性エラストマーの高度な配合・混練技術を磨き上げてきました。世界的な人口増加の中で高まる医療・食品・自動車・家電分野の需要をキャッチアップしながら、高性能な部品の部材を提供できるメーカーとして存在感を高めていくことを目指します。さらに、

蓄積してきたノウハウに加えてMI技術なども駆使して開発スピードの向上を図ります。また、製品の安定供給とBCPの観点およびアジアの需要を積極的に取り込むため、タイの生産拠点を有効に活用してグローバル市場でさらなる成長を目指します。

Focus Topic

> 名古屋工場 射出第2工場の増強

管工事業の基盤強化のために生産拠点の効率化を進めており、その一環として基幹工場である名古屋工場に省力化設備を導入した射出第2工場を設立しました。塩ビの射出成形拠点は関東工場、尾道工場、名古屋工場の3拠点体制となり、物流の最適化にも大きく貢献することが期待されます。



名古屋工場 射出第2工場(竣工:2021年3月)